

らぼーる図書室だより(令和2年6月分)

913 流浪の月／凧良 ゆう

愛ではない。けれどそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描いた長編小説。 [2020年本屋大賞受賞作]

913 怖い患者／久坂部 羊

いくつもの病院を渡り歩くドクターショッピング、介護施設で起こるおぞましい争い……。毒気に満ちた患者の怖さと最悪のどんでん返しが炸裂する！現役医師がおくる、強烈にブラックな短編小説全5編を収録。

913 木になった亜沙／今村 夏子

誰かに食べさせたい。願がかなって杉の木に転生した亜沙は、わりばしになって若者と出会い……。奇妙で不穏で純粋な、3つの愛の物語を収録する。

913 合唱 岬羊介の帰還／中山 七里

取り調べ中に殺人を起こしたとして、検事・天生が逮捕された。親友のピアニスト・岬羊介は、絶体絶命の天生を救うことができるのか？「音楽ミステリー」シリーズ。

914 猫を棄てる 父親について語るとき／村上 春樹

時が忘れさせるものがあり、そして時が呼び起こすものがある。中国での戦争経験を持つ父親の記憶を引き継いだ作家が父子の歴史と向き合う。初めて自らのルーツを綴ったノンフィクション。

159 定年を病にしない／高田 明和

肩書がない、居場所がない、孤独を深める……。定年を境に引き起こされる男性の深々な問題に焦点を当て、50～60代前半の男性の実例を中心に著者の体験も交えながら、「定年後の自分」を早く育てるためのヒントを紹介する。

291 水戸本 水戸の本気を、目撃せよ。

大人の水戸を徹底探索。屈指の名店や通いたくなるカフェ、弘道館&水戸学、水戸ホーリーホック&茨城ロボッツ、世界に誇る職人技、アニメの舞台などを紹介する。

304 バカの国／百田 尚樹

バカが溢れている。何でも炎上させるクレマー・バカ、常人には理解不能な真正のバカ……。ツッコミながらも警鐘を鳴らす、笑いと怒りの123篇を収録。

361 閉ざされた扉をこじ開ける／稲葉 剛

大人の貧困は自己責任という不寛容が日本社会を覆う中、社会から孤立し行政にも支援団体にもつながれない「見えない人たち」が増えている。「社会的に排除された側」からこの国を見つめ直す。

E おばあちゃんもこどもです／いもと ようこ

うさぎの3にん兄弟は、母の日にお母さんに宛てて書いた手紙をおばあちゃんに見せに行きました。すると、おばあちゃんは「おかあさんにあいたいよー」と言って、いっぱい泣いて……。お母さんから生まれたすべての人へ贈る絵本。